

学校評価(共通項目)評価書

朝霞市立朝霞第二中学校

柱	No	評価項目	自己評価	自己評価の説明及び学校の考え	関係者評価	学校関係者評価者の説明
学校の組織運営	1	学校は、学校教育目標達成に向けて、全教職員で組織的に取り組んでいる。	B	「一人一人が輝く活気と潤いのある学校」をめざし、朝8:25の副担任による校内美化活動や全校での栽培活動を年間計画に基づいて展開した。学力、体力の向上に取り組むと共に、いじめの無い学校をめざし、道徳教育に各学年とも組織的に取り組んだ。土曜参観では全学年で道徳の授業を公開した。	A	学校内がいつもきれいに保たれており全職員で美しい学校環境づくりに取り組んでいる様子がわかる。授業参観で各学年が道徳の授業公開をしたり、人権教育に取り組んだりと組織的にいじめのない学校づくりをしていることがわかった。
	2	学校は、安全・安心に配慮し、危機管理体制を整えている。	B	計画的に避難訓練、薬物乱用防止教室に取り組み、2、3階の転落防止ステッカーを充実させ安全・安心な学校づくりを推進した。安全点検を毎月行うと共に、各学期末には細かな点検を行い、不良個所の修繕に結びつけた。不審者情報のメール配信を行った。	B	転落防止ステッカーが2階、3階の廊下や階段にたくさん掲示され啓発が行き届いている。生徒玄関や廊下のでこぼこの平坦化工事がすばやくなされている。学校メール配信の活用頻度を増やすとよい。
基礎学力の定着	3	児童生徒は、教職員の指導により、基礎学力を身に付けている。	B	3年で実施する全国学習状況調査では国語A、国語B、数学A、数学Bすべてで全国平均を上回った。基礎・基本だけでなく、応用力も身につけている。埼玉県学力学習状況調査においても1年(国・数)、2、3年(国、数、英)すべてで県平均を上回った。今後さらに個に応じた指導に努めていく。	B	数学の少人数指導が効果を上げている。地域の保護者から二中の学力が上がっていると聞いている。それぞれの教科で平均を下回る勉強の苦手な生徒への個別の指導をさらに充実していくとよい。
	4	学校は、学力向上をめざし、児童生徒の実態に基づいて授業改善に努めている。	B	生徒の学習意欲の向上をめざし、「ICT機器」(大型テレビ、コンピューター機器等)の活用能力の向上をめざし校内研修を行い、ICT機器を活用した授業が増えた。学力向上をめざし、各教科で協議し、向上策を考え実践をした。生徒アンケート「先生は一生懸命教えてくれている」が95.8%。	A	授業を参観して感じることは、コンピューター、大型テレビを活用している授業が増えている。また、生徒もコンピューターを自ら使用して主体的に授業に取り組んでいる。
規律ある態度の育成	5	児童生徒は、生活のルールに基づき、発達段階に応じた「規律ある態度」を身に付けている。	B	4月の全校集会で「朝霞二中の生活」を確認し、全教職員が同一歩調で指導することを徹底し、生徒たちは「規律ある態度」を身につけ落ち着いた学校生活を送った。生徒アンケートで「自分は校則を守っている」という意識は96.2%。	A	朝8:25の始業5分前に教室に行き8:30に遅れる生徒がいないようにしている朝の先生方の動きがよい。校内では生徒のあいさつの声がよく響いている。校則を守ることで、生徒の社会性が身につけている。
	6	学校は、児童生徒の実態把握に基づき、規律ある態度の指導の工夫・改善に努めている。	B	毎週生徒指導部会、教育相談部会を開き、生徒の状況を把握し、実態に即した生徒指導を行い、生徒は落ち着いた学校生活を送っている。今年度は全校集会の際の無言入退場を実施することに取り組み定着させることができた。	A	学校内での生徒の授業や、休み時間の様子を見ると大変落ち着いた生活をしている。実態に応じて、体育館への無言入場・退場の取り組みをした点が良い。
健康・体力向上	7	児童生徒は、体育の授業や運動部活動、外遊び等の運動に意欲的に取り組んでいる。	B	生徒は体育の授業、体育的行事、運動部に意欲的に取り組んでいる。7つの部が県大会への出場を果たした。新体力テストでA+Bの割合が65.1%で県平均を6.2%上回っている。	A	部活動の指導がとても充実している。昼休みに校庭が生徒の姿でいっぱいになり、サッカー、バレーボールなどで体をよく動かしている。
	8	学校は、児童生徒の体力を高めるため、意図的に向上策を講じている。	B	体力テストの分析から握力の向上をめざし、全国・県・学校平均を掲示し、握力向上器具を設置した。体育の授業でさらなる体力の向上をめざし、サーキットトレーニングを導入した。	A	体力テストの分析から握力の向上策が実施されている。複数の部活動が合同で体幹トレーニングを冬休みに実施していた。
連携	9	学校は、保護者や地域と連携し、その教育力を学力や体力の向上に生かしている。	B	強歩会で学年の6割近くの保護者が当日協力してくれるなど行事等への保護者の協力体制が良い。土曜参観の日に合唱コンクール金賞クラスの披露を初めて実施し来校者が大きく増えた。保護者アンケートで「保護者・地域との連携が良い」という評価は90.2%と6.9%向上した。	A	強歩会は保護者の協力が必要だが毎年協力が得られ35年続いているのは素晴らしいことである。保護者が学校行事に積極的に協力している。
	10	保護者や地域は、学校と協力し合い、児童生徒の安全指導・健全育成を推進している。	B	PTAの校外指導部の活動で学区内パトロールを2回実施し、通学路の安全点検を行った。また、スクールガード養成講座の受講、朝霞地区健全育成地域の集いに参加した。市P連を通し市当局へ通学路の安全について改善要望をした。	A	保護者、地域、学校の連携がよくとれている。PTAパトロールは安全対策要望を出すことで安全な登下校に寄与している。今後も生徒事故ゼロをめざして活動してほしい。

注:「自己評価」及び「関係者評価」の欄はA~Dで記入

Aは4点、Bは3点、Cは2点、Dは1点で換算した平均値から、A:3.4以上、B:2.6以上、C:2.0以上、D:2.0未満